

学校教育目標 (本校の生徒像)	重点目標 (中・長期的目標)
1 常に進歩のため問題をもってことにつく 2 常に成功の可能性を確信してことに当たる 3 常に協調融和の精神をもってことを行う	1 いじめ・体罰の根絶と、安心・安全の学校づくり 2 個に応じた進路指導と生徒の進路実現及び学習集団づくり 3 ICT機器の利活用の研究と推進による学びの充実 4 自主的に活動できる態度の育成
今年度の重点目標	進路指導について 1 個々の生徒の進路希望実現のために、学習習慣定着を含めたきめ細かい個人指導を実践する。 2 高大接続に係る現行入試制度の研究を行い、学年を超えた情報共有を行い、保護者へ情報が伝わるようにする。
	生徒指導について 1 南高生に相応しい身だしなみと生活を確立させる。 2 暴力行為といじめおよび類似行為を根絶する。 3 貴重品の管理を徹底し、盗難・紛失防止を図る。 4 社会的マナーの向上を図る。 交通安全意識の向上、交通ルールを遵守、挨拶の励行
	生徒会活動 自主活動について 1 生徒会の諸活動を通じて、主体性、自立性、協調性、自治の精神をはぐくむ。 2 生徒会の諸活動を通じて、平和で民主的な国家の形成者としての資質を身に付ける。 3 生徒会活動とりわけ部活動を通じて、集団の中で心身ともに健全な生活を生涯を通して送るための基盤をつくる。 4 地域や社会の課題を見出し、地域社会に参画し貢献できる資質を養う。

領域	対象	実施項目/目標	評価の観点・方法	最終評価 (成果と今後の課題等)
教育活動	進路指導	進路希望調査、生徒面談、保護者懇談 模擬試験の活用	学級担任、教科担任への聞き取り調査による評価	近年早期入試(総合型・推薦)で大学入学を志望する生徒が増加傾向にあり、一般入試まで意欲を持って取り組ませることが難しくなっている。今年度から3年生の模試は希望者受験とした。今後も模試の在り方については引き続き検討が必要である。
		共通テスト、高大接続等に関する職員の情報共有と研究	職員会等を通して、カリキュラムに活かすことができたか。	毎年、3月上旬に「進学検討会」を開催し職員の情報共有を図っている。また大学入試情報を含めた情報等は、進路通信を発行して全校生徒・職員に提供した。
		進路講演会等による進路決定のサポート		面接指導・小論文指導は全職員で協力し行うことが出来た。ただし、推薦入試を希望する生徒が多く、また、生徒が希望する分野に偏りがあり、一部の教科の先生には複数名の生徒の指導を同時にお願するということとなり、大変無理なお願いをしていることを申し訳なく思いますが、生徒の「志望校」が決定しない限り先生方への割り振りも出来ず、難しいのが現状です。
		「学習の手引き、進路ノート、進路の手引き、進路通信」の発行	それぞれの実施項目が生徒の実態に即したものであり、生徒の進路実現に寄与したものであったかどうか。	3学年を中心に平日セミナー、休日セミナー、放課後セミナーを実施。夏休み・年末年始休業中も10分時間を確保することができ、生徒も意欲的に参加することが出来た。
		出願、面接、小論文指導(3学年) セミナーの実施		
	学力向上	補習、セミナー、学年の時間、テスト前学習等の実施 入試・模擬試験の分析と授業方法の改善 特編授業の実施	それぞれの実施項目が生徒の実態に即したものであり、生徒の進路実現に寄与したものであったかどうか。	セミナーについては国公立大学受験予定の生徒のために本年度は2月末まで実施した。特編授業、学年の時間等については計画通り実施。模試の状況については全職員で共有した。
		家庭学習時間確保のための取組み	家庭学習時間等調査、個人面談で評価する。	家庭学習時間調査の結果を踏まえて、個人面談等を行い、改善を促した。
	研究・研修	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の研究 進路研究会(職員対象)の実施	生徒アンケートにより評価する。 職員アンケートにより評価する。	タブレットをはじめ、ICT機器を積極的に活用した授業が多く見られるようになった。 本年度は3月に実施を予定している。
		新教育課程の検討かつ移行への準備 進路実現のための生徒の希望に添った選択科目講座の編成	ビジョン委員会と連携して検討することができたか評価する。 効果的な講座編成の見直しが出来たかを評価する。	新教育課程に移行して2年が経ち、検討が必要な課題について確認し共有することができた。 開講できる講座数に限度があり、一部希望に添えない状況が生じた。再編を見据えながら来年度の前半で課題の確認検討をし、後半で修正案を職員会で提案協議していく。
	生徒指導	南高生にふさわしい身だしなみとなるよう指導する。 いじめ・暴力行為の防止に努める。 交通安全を徹底する。 携帯電話、SNSの適切な使用方法を指導する。 無断アルバイトがないよう努める。 飲酒・喫煙・薬物防止の指導をする。 盗難防止及び現金・貴重品の管理を徹底する。	身だしなみの乱れはなかったか。 定期的な面談や生徒アンケートを活用する。 自転車事故等の件数を最小限にとどめられたか。 携帯電話、SNSの使用にあたって問題はなかったか。 許可制であることを周知する。 飲酒・喫煙はなかったか。 現金・貴重品の管理を徹底できたか。	全体としては良好であるが、頭髪に関して若干名指導の必要のある生徒がいた。 友人同士の「悪ふざけの延長」から指導が必要な事案があった。 交通事故が数件あり、今後も注意喚起が必要と考える。ヘルメット着用を積極的に働きかけていきたい。 安易な書き込みや投稿による指導事案があった。また、調査中の使用についても指導事案が発生した。 今年度指導事案無し。 該当する事例報告はなかった。 該当する事例報告はなかった。今後も私物の管理については注意喚起していきたい。
		委員会活動の企画・運営と活性化、生徒会各種行事の企画運営	主体的に創意工夫のある企画運営ができたか。	本部会は毎週月曜日に定例化できている。各委員会は年間活動計画に沿って活動できた。コロナ対応の実施ができた。来年度はさらに活発化できる見込み。
		部活動の活性化および活動の広報 全校の応援意識の促進	活発な活動が持続的に行われ成果を上げることができたか。	部活動はそれぞれの部単位で自主的運営ができた。来年も同様の活動を期待。壮行会も、対面形式での実施を基本として行うことができた。
		南高祭の企画と運営	全校生徒が主体的にかかわっての企画運営となったか。	1日のみではあったが一般公開を復活し、多くの皆様にご来場いただくことができた。コロナ禍以前の形式に戻しつつ、様々な企画で創意工夫を加え、新しい南高祭を作り上げることができた。
	生徒会活動	学校生活の改善に向けた取り組み	学校生活の改善に向けた意識が持てたか。	各委員会の活動を通して、様々な活動で全校生徒の意見を取り入れ、より良い学校生活を送れるよう努めた。
		AOHSなどの地域貢献活動の推進	積極的に地域事業に参画できたか。	高校生町づくり会議(AOHS)では、岡谷市内の飲食業者と連携してテイクアウト事業を行った。メニューの選定や価格の交渉などを行い、秋季クラスマッチ時において、生徒から事前予約をしたパンの販売を行った。その他にも、フォトスポット設置事業を現在実施中である。
行事	強歩大会の企画運営	大会参加率を向上させ、すべての生徒が安全に活動でき、完歩率90%以上を目指す。	PTA、同意会の協力を得て、安全面に配慮して実施することができた。完歩率は94%で目標を達成できた。	
学校運営	授業公開	12月に公開授業週間5日を設定する。 これらの機会を通じ、参観者の要望・意見を十分に吸収し、それを授業に反映させることができたかどうか。 また、中学生や保護者に本校を理解してもらおうことができたかどうか。	4月PTA総会の午前中に保護者向けに授業公開を行った。 10月12日(水)午前の授業を中学生とその保護者向けに授業公開した。100%の方が「大変参考になった」または「参考になった」と回答し、本校のことを理解していただいたと考える。 12月4日(月)～8日(金)の授業を中学生とその保護者向けに学校説明と授業公開した。100%の方が「大変参考になった」または「参考になった」と回答し、本校のことを理解していただいたと考える。	
		体験入学の実施 本校の特徴についてわかりやすく説明し、多くの中学生に本校を志望してもらえるよう努力する。	参加した中学生に、本校の魅力を知ってもらい「よかった」「参考になった」と思ってもらえたかどうか。	7月28日(金)に中学生とその保護者、および中学校の先生向けに体験入学を行った。98%の方が「参考になった」と回答し、感想から「本校の魅力」を知っていただけたと思う。
	地域・他者との交流活動	生徒会執行部をはじめ委員会やクラブなどによる地域事業への参加を促進することができたかどうか。	生徒自ら考えて地域貢献することができた。	
	広報活動	学校公式Webページの管理・更新 教育活動や各種イベント等の情報発信	Webページの更新を頻繁に行うことができたかどうか。 新聞などさまざまなメディアを利用して本校の活動実績を広く宣伝することができたかどうか。	HP上の「トピックス」、「学校からのお知らせ」の更新を進めることで、情報発信をすることができた。 一般紙を通して情報発信をすることができた。